

名義は田庭なるべし、度會の外宮の豐受大神、此國にましまして、内宮の皇大御神の朝夕の大御食奉り給ふ故に、オホハツセスラミコトノ玄かおひし名なるべし、延曆儀式帳に、天照坐皇大神云々、大長谷天皇略御夢爾誨覺賜久、吾高天原坐氏、見志眞岐賜志處爾志都眞利坐奴然吾一所耳不坐波甚苦、加以大御饌毛安不聞食坐故爾丹波國比沼乃眞奈井爾坐我御饌都神等由氣大神乎我許欲止誨覺奉支爾時天皇驚悟賜氏、即從丹波國令行幸氏度會乃山田原乃下石根爾宮柱未知立高天原爾比疑高知氏宮定齋住奉始支是以御饌殿造奉氏天照坐皇大神乃朝御饌夕大御饌乎、日別供奉云々、とあるにて、朝夕の大御饌を主り給ふ神の坐し、國なるが故に、田庭と號け、む、庭とは平かに廣きをいふ、齋清めたる稻を忌庭之穗といふにても、略、○下

〔古事記中開化〕此天皇娶旦波之大縣主名由基理之女、竹野比賣生御子比古由牟須美命、略、○中 次山代之大筒木眞若王、略、○中 此王娶丹波之遠津臣之女、名高材比賣生子、略、○下

〔古事記傳二十二〕且波タニ、略、○中 略、さて此名は多邇波なるを、後世にタシバと唱ふるは、字音に牽思得ず、

〔和井家日記〕織田信長丹波國附屬明知光秀事

十兵衛ハ、丹波ハ信長ニモラヒ申トテ、万事ヲサシオキ東丹波ノハシノ桂川邊ニ討テ出候テ、東方ノ先鋒衆ト度々弓矢致シ候、○下

〔地勢提要乾〕各國經緯度 附里程

丹波笹山町二階 極高三十五度四分半、經度西三十一分、從東都東海道自京 師歷龜山 一百五十里一十九町一十四間半、

〔日本經緯度實測〕北極出地

丹波 笹山 三五度〇四分三〇秒 龜山 三五度〇一分〇〇秒

位置